

浅海定線調査結果(令和5年6月5日)

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

	令和5年6月	平年値との差 (平年値)	昨年6月との差 (昨年6月観測値)
水温 (℃)	表層 21.4	+ 0.6 (20.8)	+ 0.6 (20.8)
	底層 20.3	+ 1.2 (19.1)	+ 0.6 (19.7)
塩分 (PSU)	表層 31.37	- 0.98 (32.35)	- 1.43 (32.80)
	底層 32.02	- 0.67 (32.69)	- 0.89 (32.91)
透明度 (m)	3.3	- 0.9 (4.2)	- 1.0 (4.3)

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

- ・ 表層、底層ともにやや高めでした。

(2) 塩分

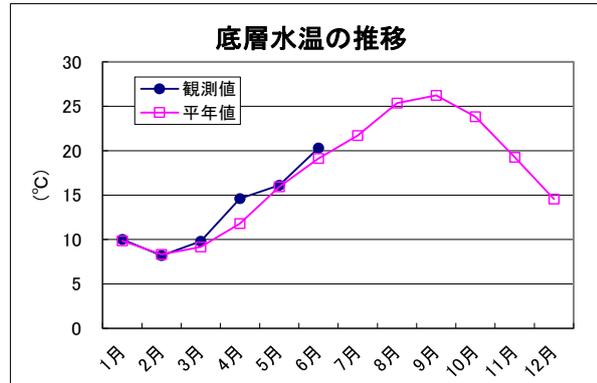
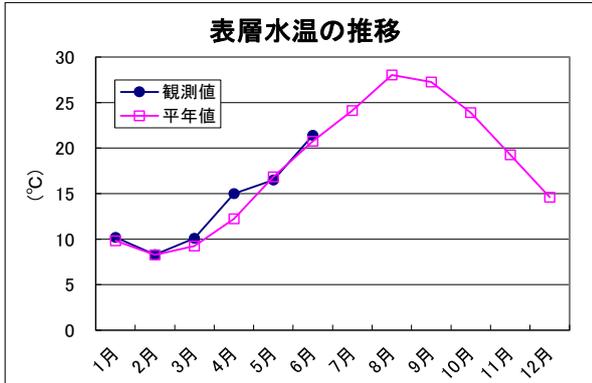
- ・ 表層、底層ともにかなり低めでした。

(3) 透明度

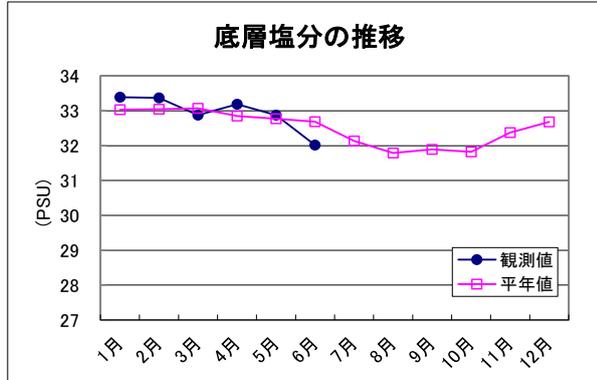
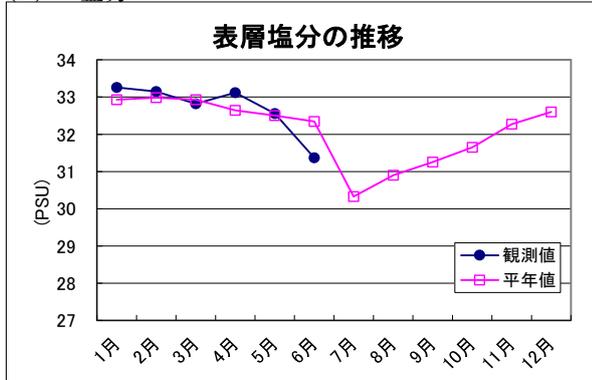
- ・ 透明度はやや低めでした。

調査結果(グラフ)

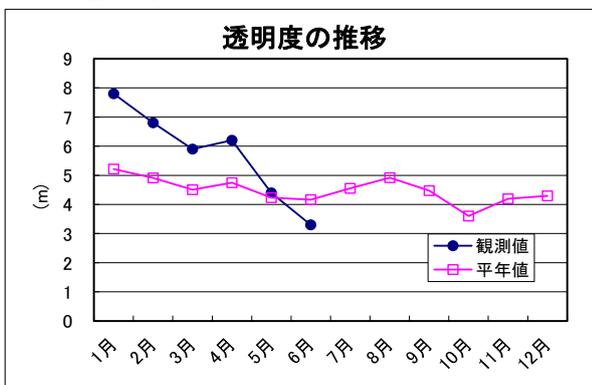
(1) 水温



(2) 塩分



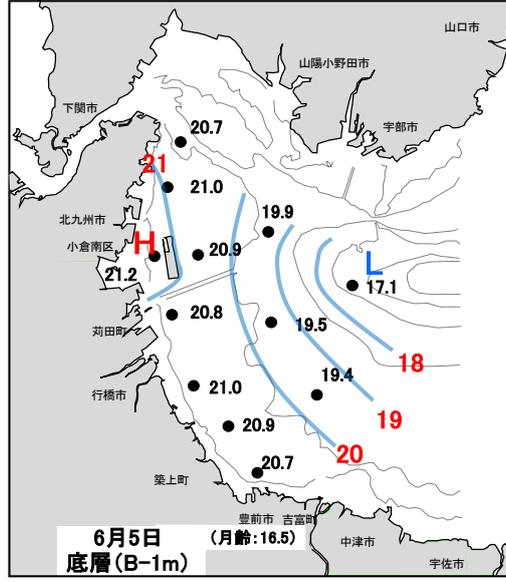
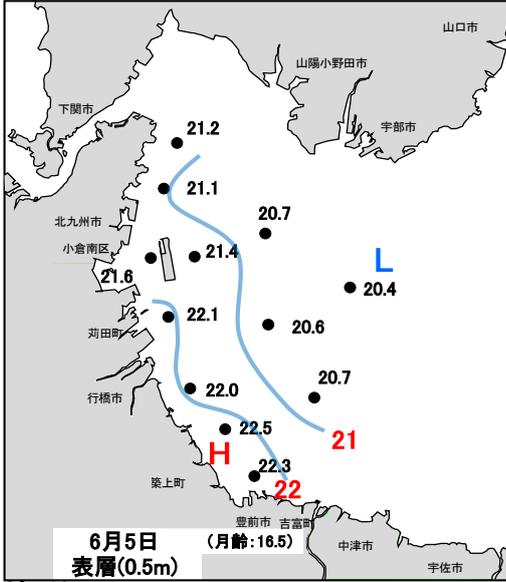
(3) 透明度



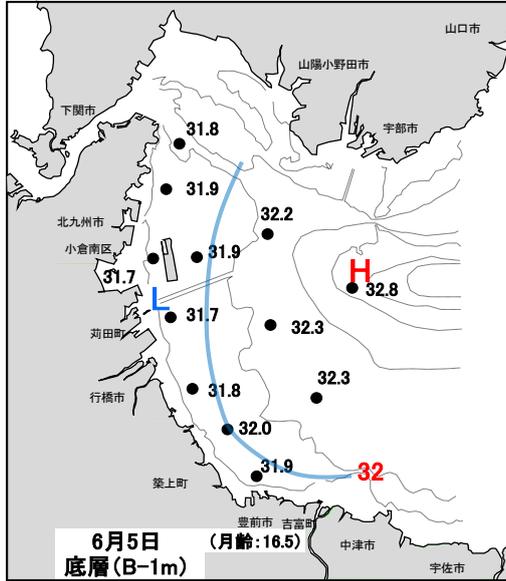
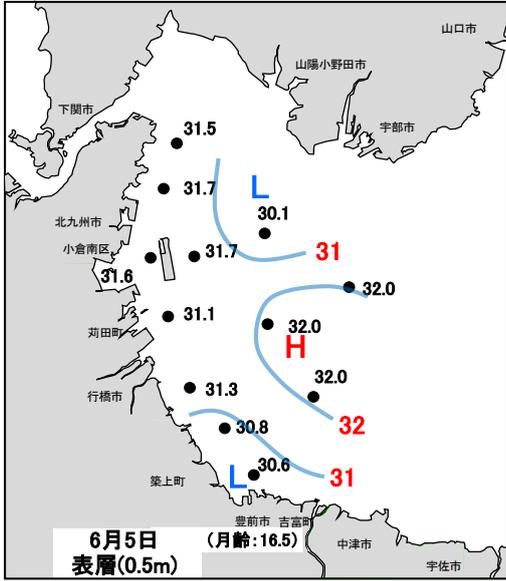
3. その他

- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色や貧酸素の海域は見られませんでした。
- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5 m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・ 中南部海域ではミズクラゲが多く確認されました。
- ・ 南部の沿岸域で全長1 m以下のシュモクザメが確認されました。

水温



塩分



透明度

